



資生堂、100%再生可能エネルギー利用を目指す 国際的なイニシアティブ「RE100」に加盟



資生堂は、企業が事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指す、国際的なイニシアティブ「RE100」※に加盟しました。

当社は脱炭素社会への移行に向けて、「2026年までにカーボンニュートラル」の実現を目標に掲げています。その達成に向けて、再生可能エネルギーの活用は不可欠と考えており、「RE100」へ加盟することで、事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー化をさらに加速させます。

当社は環境課題への対応として、「地球環境の負荷軽減」「サステナブルな製品の開発」「サステナブルで責任ある調達の推進」の3つの戦略アクションを定め、全バリューチェーンを通じて、さまざまなステークホルダーと共に、環境負荷の軽減とサステナブルな資源の利用に向けた取り組みを推進しています。

「地球環境の負荷軽減」において、すべての工場における生産工程を徹底的に見直し、高効率設備の導入によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギー利用など、CO₂(二酸化炭素)排出量削減の取り組みを行っています。特に再生可能エネルギーに関しては、国内外での積極的な再生可能エネルギーへの切替えや、国内外の自社工場及び研究所の建物や敷地に太陽光発電設備の設置を促進しています。国内工場では、水力発電由来の再生可能エネルギーも積極的に利用しています。

当社は企業使命である「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD」のもと、「人々が幸福を実感できる」サステナブルな社会を実現するために、「美」を楽しめる地球環境に貢献します。

※RE100:「100% Renewable Electricity*」。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする企業で構成される国際的なイニシアティブ。The Climate Group(温室効果ガス排出量削減に取り組む国際NPO)がCDPとのパートナーシップのもとで運営している。

*表記に誤りがありましたので、訂正させていただきます。【訂正前】Renewable Energy 100% ⇒ 【訂正後】100% Renewable Electricity

(参考)

サステナビリティレポート 2020: <https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/pdf/2020.pdf>